

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点 L-2	○	○	○	○	○	○

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
調査地点 L-2	37.8155°	140.9763°	R4.8.29	10:50	11:16	24.6	24.3	砂	7.5Y3/2	貝殻	1.9	1.0

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点 L-2	37.8155°	140.9763°	R4.8.29	10:50	7.9	0.9	4.1	6.6	3930	26.24	1.9	19	9.2	N. D. (0.0015)	0.019	0.00086

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点 L-2	37.8155°	140.9763°	R4.8.29	11:16	7.8	417	20.8	1.1	2.5	2.690	2.3	10.9	66.0	14.2	2.8	3.8	0.43	9.5	0.94	29	N. D. (0.15)

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	R4.8.18	節足動物	軟甲	エビ [*]	モリスガニ	<i>Hemigrapsus</i> sp.	イソガニ属	54	0.061	未成体/成体	—	—	計	1.5	N. D. (0.59)	1.5	—
					節足動物	軟甲	エビ [*]	ワタリガニ	<i>Charybdis japonica</i>	イシガニ	11	0.66	未成体/成体	—	—	計	0.36	N. D. (0.37)	0.36	0.13
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ [*]	アサギ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	6	0.47	未成魚	ゴカイ類、貝類、甲殻類	内臓除去	計	0.52	N. D. (0.27)	0.52	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ [*]	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	5	0.13	成魚	—	—	計	0.67	N. D. (0.37)	0.67	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ボラ [*]	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	19	0.12	未成魚	—	—	計	19	N. D. (1.9)	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	フナ [*]	フナ [*]	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	1	0.053	成魚	—	—	計	0.82	N. D. (0.73)	0.82	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。